

令和2年度実施の学校評価（自己評価結果）

令和2年8月22日

評価基準	評価項目	自己評価	委員の意見
1.教育理念・目標	(1)学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	A	・目標が明確に定められ、社会環境の変化に対応できるよう常に教育内容の見直しを意識する必要がある。
	(2)学校における職業教育の特色は何か	B	
	(3)社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	B	
2.学校運営	(4)目的等に沿った運営方針が策定されているか	B	・学校運営にあっては、方針の明確化を推進しているが、現場教員と本部との整合性に齟齬があることは否めない。今後は運営の進捗状況等十分に情報共有を図る必要がある。 ・救急救命学科、理学療法学科の情報共有は改善されている。 ・意思決定システムについては学園本部からのトップダウンが基本となっており現場教員の意向等ボトムアップのシステムの向上を図る必要がある。
	(5)運営方針に沿った事業計画が策定されているか	C	
	(6)運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか	C	
	(7)教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	B	
	(8)意思決定システムは確立されているか	C	
	(9)情報システム化等による業務の効率化が図られているか	B	
3.教育活動	(10)教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A	・救急救命学科にあっては専任教員の負担が大きく、改善が必要と思われる。 ・理学療法学科にあっては教員の充足は良好である。 ・両学科とも科目別に編成されたカリキュラムに応じた授業が行われている。 ・職員研修は両学科とも積極的に行う必要がある。
	(11)修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	
	(12)学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	
	(13)キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	
	(14)授業評価の実施・評価体制はあるか	B	
	(15)成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	B	
	(16)資格取得に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A	
	(17)人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる案件を備えた教員を確保しているか	B	
	(18)職員の能力開発のための研修等が行われているか	B	
4.教育成果	(19)就職率の向上が図られているか	B	・救急救命学科にあっては公務員試験対策を行っているが、公務員合格率は平均60%で推移している。 ・退学者を出さないよう教員が一丸となって努力する必要がある。
	(20)資格取得率の向上が図られているか	B	
	(21)退学率の低減が図られているか	C	
	(22)卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	B	
5.学生支援	(23)進路・就職に関する支援体制は整備されているか	B	・学生相談に関しては、両学科とも教員が担当しているが、総合的な担当相談員を設けることも必要がある。 ・救急救命学科では課外活動は活発に行われているが、理学療法学科でも行う必要があるのではないか。
	(24)学生相談に関する体制は整備されているか	B	
	(25)学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	C	
	(26)学生の健康管理を担う組織体制はあるか	B	
	(27)課外活動に対する支援体制は整備されているか	B	
	(28)学生の生活環境への支援は行われているか	B	
	(29)保護者と適切に連携しているか	B	
	(30)卒業生への支援体制はあるか	B	

評価基準	評価項目	自己評価	委員の意見
6.教育環境	(31)施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策で各教室に除菌装置を設置しており、現状では良好と思われる。 ・両学科とも実習資器材の更新を計画的に進める必要がある。 ・千葉校に更なる投資が必要ではないか。
	(32)学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	B	
	(33)防災に対する体制は整備されているか	B	
7.学生募集活動	(34)学生募集活動は、適正に行われているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・近年は両学科とも定員の充足では厳しい状況であるが、学生の募集活動の一層の努力が必要と思われる。
	(35)学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	B	
8.財務	(36)中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	B	幼稚園2校、専門学校4校によりそれぞれ予算案を開始前3月に作成し本部予算を加えたものを理事会にて諮り決定している。また、定期的開催される理事会において承認された補正予算を組むこともある。政府系の銀行よりの借入により無理な返済計画ではなく新学科の設置資金や運転資金を調達でき財務基盤は安定している。公認会計士により年の途中監査も含めた意見書を毎年作成してその年度の報告及び次年度のアドバイス等を理事会で承認されている。財務状況の情報公開は実施している。
	(37)予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	B	
	(38)財務について会計監査が適正に行われているか	B	
	(39)財務情報公開の体制整備はできているか	B	
9.法令等の遵守	(40)法令、専修学校の設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護に関しては明確な整備を図るよう努められたい。 ・今後とも法令を滞りなく遵守していただきたい。
	(41)個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	B	
	(42)自己点検評価の実施と問題点の改善を行っているか	B	
	(43)自己点検評価の結果を公開しているか	C	
10.社会貢献 地域貢献	(44)学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命学科では積極的なボランティア活動を行っているが、理学療法学科は消極的な傾向なので改善を期待したい。
	(45)学生のボランティア活動の奨励、支援をしているか	A	
	(46)地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練を含む）の受託等を積極的に実施しているか	A	

※自己評価はAは良好・Bは概ね良好・Cは検討、改善